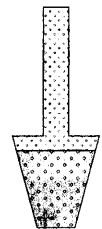
Step1 ゴミを採取します

〈準備して下さい〉
●ゴミ取り袋　●家庭用掃除機

掃除機にゴミ取り袋をセットし、約1m²を1分間吸引します

①図のようにゴミ取り袋を円筒状にします

②ノズルまたはパイプのジョイントをはずし、挿入方向を間違わないように、図を参考にゴミ取り袋を装着します
フィルムの羽部分はパイプの外に出し、ジョイント部分に挟み込むように装着します

1m²　1m　1m

③掃除機で、約1m²（タタミ半帖が目安です）を1分間吸引します

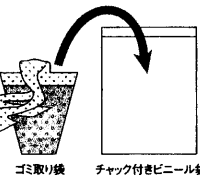
Step2 アレルゲンを抽出します

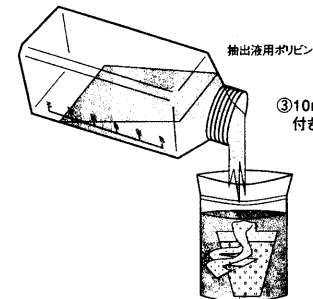
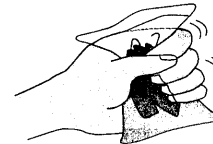
〈準備して下さい〉
●抽出用ポリビン(60ml)　●抽出液用錠剤　●チャック付きビニール袋

アレルゲンの抽出のための準備をします

①抽出液用錠剤が容器に入っていることを確認し、水道水を容器の肩（約60ml）まで入れて錠剤を完全に溶かします（この錠剤は溶けにくいので30分以上放置して下さい
ゴミ採取前に作っておくと便利です）

注：抽出液は5回の抽出に使用します（室温で半年間は保存可能です）

②ゴミ取り袋を取り出し、チャック付ビニール袋に入れます

ゴミ取り袋　チャック付きビニール袋

アレルゲンの抽出をします

③10mlの抽出液を、ゴミ取り袋を入れたチャック付きビニール袋に入れ、チャックを閉めます

④約1分間手でよく揉んで下さい（ダニアレルゲンの抽出）

Step3 アレルゲンを検出します

〈準備して下さい〉
●マイティチェッカー　●時計

マイティチェッカーを取り出し、抽出液に浸けます

①アルミラミネート袋を開封し、スティックを取り出します（同封の乾燥剤は検査には用いません）

②抽出した液に直接マイティチェッカーのDIPラインまで3秒間浸けます

③マイティチェッカーをアルミラミネート袋等の上に水平に置き、判定まで10分間待ちます

Step4 レベルを判定します

〈準備して下さい〉
●判定用色見本

ダニアレルゲンレベルの判定を行います

〈注意事項〉
①CONTラインが発色していれば、反応が正常に終了したことを意味します。（検査前には発色はなく、検査後は陽性・陰性ともに発色します）抽出液は試薬と反応しながら上方に移動するため、TEST・CONTライン窓全体がピンク色になることがあります。これは試薬が順調に上昇していることを示し、陽性を示すものではありません。判定は10分後にCONTラインの発色を確認してから行って下さい。
②時間の経過とともにTESTラインの着色度合いが変化しますので、必ず10分後の発色にて判定を行って下さい。
③10分経過してもCONTラインの発色が認められない場合は、操作ミス等が考えられますので、別のスティックにて検査をやり直して下さい。

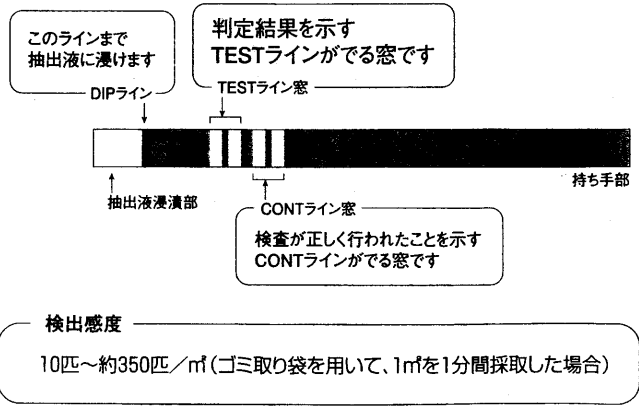
ダニ検査用マイティチェッカー®（5テスト入り）

①マイティチェッカー ……5本
②ゴミ取り袋 ……………5枚
③チャック付ビニール袋 …5枚
④抽出液用ポリビン（抽出液用錠剤1錠入り） ……1本
⑤取扱説明書（判定用色見本）…1枚

発売元：**シントーファイン株式会社**

大阪 〒533-0004　大阪市東淀川区小松2丁目15-52 / TEL 06-6328-2861
東京 〒101-0025　東京都千代田区神田佐久間町3丁目27番地3 ガーデンパークビル 7F / TEL 03-5822-1381
九州 〒862-0924　熊本市帯山6丁目7-136 / TEL 096-386-8617

マイティチェッカー®は、抽出液に浸けるだけの簡単操作で、短時間にダニアレルゲンを検出できる屋内塵性ダニ簡易検査キットです。

マイティチェッカーはこんなキットです!

検査の重要性（必要性）

小児喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患の主要アレルゲンは、屋内塵（ハウスダスト）中に生息しているヒョウヒダニ類（チリダニ類）に由来しています。

アレルギー性疾患の症状改善には、患者をアレルゲンから遠ざけることが最も有効な手段であり、そのためにはまず、患者宅のどこにどれくらいのダニアレルゲンがあるのかを知る必要があります。しかし、今まで簡単にダニアレルゲンを検出する方法が確立されていなかったため、医師は患者の生活環境を改善するための客観的なデータに基づいた指導ができませんでした。

"マイティチェッカー®"は、ダニアレルゲンレベルを現場で簡単に検出できるダニ簡易検査キットです。この検査キットは、専門知識が不要で、しかも個人差によるデータのバラツキもありませんので、手軽にご使用いただけます。

このキットで得られた検査結果は、医師による、客観的なダニ汚染データに基づいた患者への適切な環境改善指導の指標になるばかりでなく、患者（または保護者等）自身で検査することによってダニ汚染が深刻な箇所の特定や日々の清掃状態をチェックできます。

測定原理

ダニアレルギーの臨床において重要なアレルゲン（メジャーアレルゲン）の一つであるDer 2（Derf2とDerp2両方）と特異的に反応するモノクローナル抗体を用いた水平展開クロマト方式によってハウスダストの抽出液中に含まれるダニアレルゲンを発色程度によって検出します。

酵素免疫測定法との相関

マイティチェッカーによる検査方法と酵素免疫測定法の相関を調べた結果、相関係数は、r=0.83と非常に高い相関を示した。よってマイティチェッカーは学校環境衛生の基準で求められた測定方法に使用できる。

（出典："ダニアレルゲン簡易検査法の有用性に関する研究"学校保健研究 第44巻 第4号）

屋内塵性ダニ簡易検査キット

ダニ検査用マイティチェッカー®

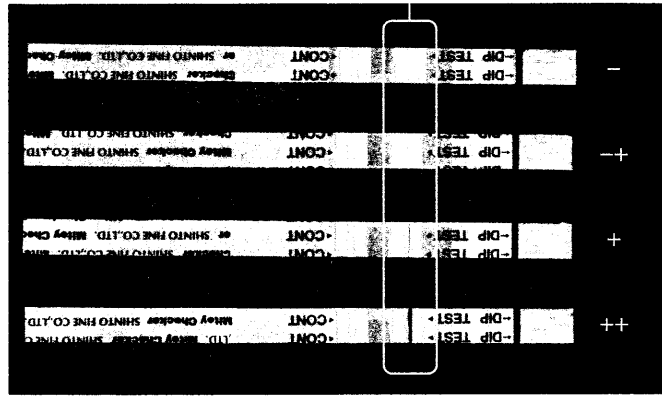
Mitey Checker®

この説明書をよく読んでからお使い下さい。

5テスト入り

「学校環境衛生の基準」準拠商品

++	濃く、太い ハッキリとしたライン	>35μg(>350匹)／㎡	通常より多く、除去が必要です
+	ラインであることが ハッキリとわかる	10μg (100匹)／㎡	一般家庭の 通常レベルです
+−	うっすらと発色 しているのがわかる	5μg (50匹)／㎡	良好なレベルです
−	全く発色していない	<1μg (<10匹)／㎡	とても快適な状態です

ここでチェック

【使用上及び取扱い上の注意】

1.使用上の注意

【検体の採取・調製】

- ●ゴミを採取する際は、一定面積を一定時間（1分／1㎡）掃除機がけを行い、採取したゴミを一定量（10ml）の抽出液（PBS）で処理します。
  →ダニアレルゲンレベルの判断に必要です。

【検査】

- ●操作は、定められた手順に従って、正しく行って下さい。
- ●スティックは、使用直前までアルミラミネート袋から取り出さないで下さい。
- ●スティックを折り曲げたりしないで下さい。
- ●スティックの抽出液浸漬部には、手などで直接触れないで下さい。
- ●検査の際には、抽出液にスティックの抽出液浸漬部をDIPラインまで十分に入れ、約3秒間ゆすらないで、つけて下さい。

【判定】

- ●抽出液に浸漬後、約10分後に「CONTライン」が発色していることを確認の上、「TESTライン」の着色にて判定して下さい。
- ●「CONTライン」の発色が認められない場合は、反応が正常に進まなかったことを意味します。別のスティックにて再度試験を行って下さい。

2.保管及び取扱い上の注意

- ●小児の手の届かない所に保管して下さい。
- ●直射日光や熱源を避け、湿気の少ない涼しいところに保管して下さい。
- ●開封後は、速やかにご使用下さい。
- ●ご使用後は、燃えるゴミとして処分して下さい。